

一泊二日の
合宿形式

講師 船橋 正美
JMA専任講師

定員 15名
(1開催1社4名まで)
開催場所により定員数が
異なる場合があります。

詳細は
JMA 150824 検索

部長のための 未来洞察と シナリオ・プランニングセミナー

このような方におすすめです

- ・部長職の方で部門運営能力に磨きをかけたい方
- ・部門内の課題解決の仕組みの構築・提案する力を学びたい方

ねらい

「創造し続ける組織・事業づくり」を担う部長職が直面する
5つの課題の深耕と対応策を集中的に研究します。

新任部長とは異なり、部長経験の長さにより部門運営の経験
値に基づき必要とされる資質や能力の向上が求められます。

マネジメントモデルを習得し、現在の部門運営における「課題
を発見・整理する力」や「課題解決の仕組みの構築・提案する力」
を養い、あらたなマネジメント能力を醸成します。

特長Ⅰ

5つの視点から 未来の強い組織・強い事業を考える

5つの視点から強い組織・強い事業づくりに必要な能力を強化します。

部長職が直面する5つの課題



会期・受講形態(会場)

KFC Hall & Rooms (東京・両国)

2025年 9月25日(木)～26日(金) ※会場(東京・1泊2日合宿)

開催時間 【1日目】10:00～20:00
【2日目】9:00～17:30

参加料(税込)

日本能率協会法人会員	207,900円/1名
上記会員外	240,900円/1名

※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
※参加料にはテキスト(資料)費、研修期間内の食費・宿泊費が
含まれております。

特長Ⅱ

プログラムの約40%が講義、 60%がケース研究・ワークショップ

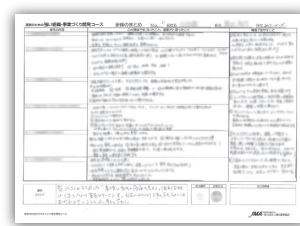
他社の部長職以上の方々とのワーク
ショップにて、相互啓発、研鑽を積み、
座学だけでは得られない刺激を受け、
異なる発想に触れます。同じ社会
現象、ビジネス現象をどう解釈する
のか。時代・社会の潮流を読み解き、
視野を拡大します。



特長Ⅲ

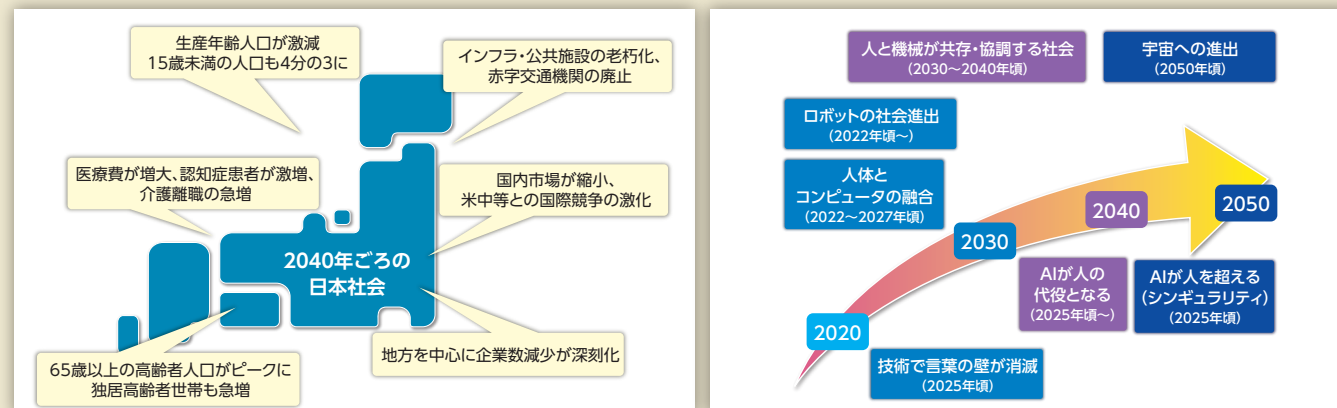
研修のまとめシートによる 意識・決意の定着化

受講者が、5つの視点毎に、「自省」や
「気づき」を記入し、意識の定着化を図り
ます。
また、「『これだけは実行する』との決意
と計画」を見える化し、視座も高めます。
人事担当役員・社長への回覧をおすすめ
します。



研修のまとめシート

— 急激に変わり続ける未来 — 2040年頃の日本社会 / テクノロジーの今後の見通し



※〈出典〉総務省資料：情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会

自社の業界・顧客だけを見ていませんか？

これからの時代を、政策、経済、社会、技術、社会課題、価値観の変化などから定量的・定性的に把握、分析し、自社の企業価値を高める一手を探ります。

プログラム

<休憩時間 12:00～13:00(予定)>

討議テーマ

10:00 1 環境変化への備えは充分か(未来の洞察)

- 1) マクロ～業界～自社～担当領域
- 2) 企業経営と社会課題の連動性
- 3) 「個の成長・組織の活性化・組織の社会性」を考える

2 組織のチャレンジ精神を駆り立たせているか

- 1) ミッション・ビジョンの共有と目標・計画の浸透をいかに進めるか

ケース研究1

- 2) 知的機動力を備えた組織を支える仕組みは充分か
- 3) 働き方改革を実践する意識・業務改革に遅れはないか



3 メンバー・部下の「自律と成長」にコミットしているか

- 1) 事業や部門の使命・成果・計画の重要性
- 2) 課長の役割・使命は明確か
- 3) 課長・チームメンバーは成長と成果への実感をもっているか

ケース研究2

参加者情報交流会 (18:45～)

9:00 4 ステークホルダーとの協働視点到広がりはあるか

- 1) 社会課題解決と事業・業務の関連性を意識できるか
- 2) メタ・プロジェクトの視点からの事業・業務変革

ケース研究3

5 3年後を見据えた自身のリーダー像は明確か

- 1) リーダーシップタイプ
- 2) マネジメントスタイル
- 3) 研鑽すべき資質・能力と受容・発信



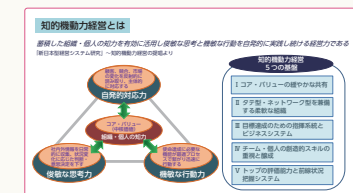
◆ 総括～課題対応の重要度と優先度は明確か

研修のまとめシートの作成

後日、講師からのコメントを一人ひとり記入して返却いたします。

マクロ環境動向、自社、担当事業・業務の
課題を当事者としてどう受け止めるか。
また、自社事業と社会課題との関連性
なども検討します。

俊敏な思考と機敏な行動を自発的に
実践し続ける「知的機動力経営5つの
視点」を題材に、自社、担当業務領域で
強化すべき仕組みやマネジメントの視点
を考察、討議します。



メンバー・部下の「自律性と成長」を
引き出し、醸成する組織づくりに必要な
視点を再認識するとともに、自ら働き
かけるべき行動計画を参加者間の経験
交流も通じて検討します。

自社、担当事業・業務について、あえて
スコープを広げ、社会課題との関係性や
関係者との新しい協働視点の可能性に
ついて研究します。

環境変化、自社、担当事業・業務の広がり
を意識しつつ、今後の自身のリーダー
シップのあり方を研究するとともに、具
体的な意識・行動シナリオを重要度・優
先度も含めて検討します。

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

※申込みに関する問い合わせ先: 【TEL】03 (3434) 6271 【e-mail】seminar@jma.or.jp

※プログラム内容に関する問い合わせ先: 【TEL】03 (3434) 1955 【e-mail】kaisou@jma.or.jp